



新年のごあいさつ

あ

けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、ご健勝にて輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年4月に町長に就任し、「日本」住みたい町」を基本理念に、「共働」笑顔があふれるまちづくりに取り組み、あつという間の8カ月を過ごしてまいりました。

その中で、町民を笑顔にするためにはまず役場組織および職員の改革からという思いがあり、昨年7月に大規模な組織改革を行いました。課・係の統廃合や名称の変更などを行っています。

また、来庁者を笑顔で迎え、笑顔で帰っていただける窓口サービスの徹底を図るため、全職員（非常勤職員含む）を対象とした接遇研修にも力を入れました。職員研修は今後

も定期的におこない、「人づくり」に努めていきたいと考えています。

特に今年は、3つの施策に力を入れていきます。

中

原北用地の活用や恐竜博物館と観光分野関係などの、複数の分野が関係する町の課題に対し、「まちづくり政策プロジェクト」を立ち上げ、各課が連携して解決できる仕組みをつくりま

長

年懸案でした給食センターの建設に取り組みます。各小中学校の給食室が耐用年数を超え老朽化しており、一日も早い着工が待たれていたところ

昨

年12月に御船町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。

本戦略は、御船町の人口問題に特化した戦略で、人口減少を抑制するために、「人の流れ」「地域づくり」「結婚・子育て支援」「雇用の創出」を基本目標に据え、6つの重点プロジェクトをつくり、平成31年度まで実施していきま

す。

その中でも、本年は、「人

あ

けましておめでとうございます。町民の皆さまには、ご健勝にて平成28年の新春を迎えられたことに、心からお喜び申し上げます。

また、日頃より町議会に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年9月の関東・東北豪雨をはじめ全国各地で異常気象による集中豪雨や台風、また、阿蘇山をはじめとする火山噴火などの自然災害が発生し、人的、物的に甚大な被害が出

ました。御船町においても6月の梅雨前線豪雨や間所地区の地すべり災害、台風15号による被害が発生しました。

梅雨前線豪雨時には、避難指示も発令され、情報伝達のあり方や地域防災の重要性を再認識したところで

す。また、間所地区の地すべり災害についても住民生活に多大な支障をきたしており、早急な復旧に取り組んでいく必要があります。

さて、地方自治体では、景

気の低迷や人口減少、少子高齢化社会の到来など、さまざまな課題に直面し、今、まさに、まちづくりのあり方そのものが大きく問われていま

す。

そのような中で、安倍内閣がかかげる重点施策のひとつである「地方創生」が本格的に始動することになりました。御船町においても、昨年12月に「御船町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。「地方創生」については、執行部と議会が一体となつて推進していき、国の基本的な考えを踏まえ、「人口減少」と「地方創生」に向き合い、実効性が期待できる施策に取り組み必要があると思われ

ます。また、議会においては、昨年4月に執行されました一般選挙において定数を2人削減し、議員定数を14人とし、定数は削減しましたが、御船町議会基本条例にある「町民とともに歩む議会」

の流れ」をつくるため、「移住・定住の受け入れ態勢の構築」「恐竜を活かした交流の推進」に力を入れるとともに、特に、充実した教育環境や自然豊かな御船町を素材に、現役世代や御船にゆかりのある人々に積極的にアプローチをかけ、転入者増を目指し行動に移していき

ます。最後に、本年も本町行政運営に対し、更なるご理解とご協力を賜りますとともに、町民の皆さまにとつて素晴らしい一年であることを祈念いたしまして、新春のごあいさつといたします。

笑顔があふれるまちを目指して

御船町長
藤木 正幸

さらなる議会改革と活性化を目指して

御船町議会議長
井本 昭光

